



給与のグローバル基準

令和6年11月3日

黒田インターナショナルコンサルティング LLC

黒田 毅

企業環境をグローバル基準において整備することは、グローバル基準における給与体系の構築を実現できるものである。

これらは現状において優秀な人材を完全に占有し、これらが企業のより優れたプレゼンスと現実の創造を実現できるのである。

これらは効率性や生産性において、グローバル基準における企業整備を実現することは、その高い利益性ととも、企業の自己基準の転換と経営環境の転換を明確に実現できるのである。

これらは企業サイクルの構築が、グローバル基準において行われることを意味するものである。

これらは明らかに既存現実からの乖離と離脱であり、世界との同一基準における企業経営は、時代と現実への対等性を構築することなのである。

これらは現状における変化への企業の選択として誤りでないを考える。変化という現実への対応は必ず優秀な人材の囲い込みを要求されるのである。

また経営におけるこれら基準の順守は、企業経営が世界との対等性を実現できるのである。

これらは新しい次元と可能性への企業の参加であることは正しいと考える。グローバル企業が有する新しい現実への参加はその同等な企業環境を求めることは正しいのである。

これらはグローバル市場が要求する企業基準という現実への対応において、企業の内実の整備はこれらへの合格において企業構築を得ることの意味は大きいと考える。

これらが現実における要求であるためである。それらが新しい現実への参加を可能とする新しい企業要求と基準であるため、企業経営の転換におけるこれら基準の受け入れは、時代と世界への参加を与える必要性であることは真実であると考えている。

